徳島県がん対策推進計画の改定について（案）

1 計画改定の趣旨

- 本県では、「がん対策基本法」第12条に基づき、国の「がん対策推進基本計画」を踏まえて、平成20年に徳島県がん対策推進計画を策定。平成25年に第2期計画を策定、平成30年から、現計画である「徳島県がん対策推進計画－2018年改訂版－」に基づき、がん対策を推進している。
- 今年度が現計画の終期となる中、本年3月、国の「第4期がん対策推進基本計画」が示されたことを受け、本県においても現計画を改定する。

2 計画期間

- 令和6年度から令和11年度までの6年間

3 基本理念

- 「誰一人取り残さない！全ての県民とがん対策を推進し、がんの克服を目指す。」**
- 全ての県民ががんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す。

4 計画の骨子

目標：がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の減少

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- ・ 1次予防 がん予防に関する普及啓発(生活習慣・感染症対策)
- ・ 2次予防 誰もが受診しやすい検診体制の構築(受診率向上対策)

②患者本位で持続可能ながん医療の提供

- ライフステージやがん種等に関わらず、適切な医療を受けられる体制の充実
- ・ がん医療提供及び連携体制の整備
 - ・ ④妊孕性温存療法について
 - ・ ④がんと診断された時からの緩和ケアの推進

③がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- 全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上
- ・ サバイバーシップ支援(就労、アピアランスケア、自殺対策)
 - ・ ライフステージ(小児・AYA世代、高齢者)に応じた療養環境への支援

④これら(①～③)を支える基盤の整備

- ・ がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成の強化
- ・ ④がん登録の利活用の推進
- ・ ④患者・市民参画の推進(患者団体・民間団体との連携、がんへの理解促進)

5 今後のスケジュール

- 10月 第2回徳島県健康対策審議会で素案審議
- 11月 11月議会文教厚生委員会に素案を報告
- 12月 パブリックコメントの実施
- 1月 第3回徳島県健康対策審議会で最終案審議
- 2月 2月議会議会文教厚生委員会に最終案を報告
- 3月 計画策定

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

1. がん予防

- がんの1次予防
 - 生活習慣について
 - 感染症対策について
- がんの2次予防（がん検診）
 - 受診率向上対策について
 - がん検診の精度管理等について
 - 科学的根拠に基づくがん検診の実施について

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

2. がん医療

- がん医療提供体制等
 - 医療提供体制の均てん化・集約化について
 - がんゲノム医療について
 - 手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - チーム医療の推進について
 - がんのリハビリテーションについて
 - 支持療法の推進について
 - がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - 妊孕性温存療法について
- 希少がん及び難治性がん対策
- 小児がん及びAYA世代のがん対策
- 高齢者のがん対策
- 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

3. がんとの共生

- 相談支援及び情報提供
 - 相談支援について
 - 情報提供について
- 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - 就労支援について
 - アピアランスケアについて
 - がん診断後の自殺対策について
 - その他の社会的な問題について
- ライフステージに応じた療養環境への支援
 - 小児・AYA世代について
 - 高齢者について

4. これらを支える基盤

- 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- 人材育成の強化
- がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- がん登録の利活用の推進
- 患者・市民参画の推進
- デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 関係者等の連携協力の更なる強化
- 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
- 都道府県による計画の策定
- 国民の努力
- 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 目標の達成状況の把握
- 基本計画の見直し